＜赤ちゃんや小さい子どものいる家庭での読み聞かせ支援のツール＞

教材番号　**28～29**

**２**

想定される活用の場面　図書館（おはなし会・絵本についての講座など）　公民館　子育て支援センター　　　子育てサークル　保育所（未入所の子供対象の体験入所を含む。）幼稚園（未入園の子供対象の体験入園）　乳幼児健診の場　病院などでのプレママスクール，マタニティクラスなどの場　ブックスタートの場

　　　　　　　　　　対象（時間）：図書館（読書）ボランティア（90分程度）

**おひざにだっこでおはなししましょう　～絵本をひらいてみませんか？　読み聞かせどうしている～**

**～**

【ねらい】読み聞かせの体験や，読み聞かせの悩みや工夫などの意見交流を通して，絵本の世界を広げるとともに，

　　　　　子どもたちと絵本をつなげる機会とする。

【準備物】主催者：名札，ワークシート，思い出・アンケート用紙Ａ５，筆記用具，マジック，ガムテープ

絵本（図書館で50冊準備）。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 時　間 | アクティビティの展開例 | 留　　意　　点 | 備　考 |
|  | 〇名札付け（来た順に） | ○全員がガムテープ名札をつける。（下の名前） | ※図書館司書や読み聞かせボランティア等と協働しての講座を展開。 |
| 13：30  ～  13：35  （5分） | ○主催者あいさつ  〇ファシリテーター  読書ボランティアの自己紹介 | ○写真を撮る場合は，予め了解を取る。（肖像権） |
| 13：35  ～  13：55  （20分） | **アイスブレイク（雰囲気づくり）**  ☆出会いのシート  　　　　　　　　　（10分）  ☆参加者で絵本の読みあい  　　　　　　　　　（10分） | ○三つの約束（発言の平等，人の発言を肯定，秘密の  保守），ただし，言いたくない事は話さなくても良い。（パス有り）…口頭で　前には貼りださない。  ○その人のイメージをつかみ，その人に合った本を選ぶことで相手との距離感を縮める。シートはランダムに受け取る。  〇二人一組で絵本の読みあい（相手の事を考えて選書する初めての絵本体験） | ▲絵本を積極的に読んでいない人も含め進行  ※｢0・1・2児向けあかちゃんと楽しむ絵本ガイド｣を活用（県立図書館） |
| 13：55  ～  14：25  （30分） | **＜考えましましょう＞**  〇お互いに読みあいの感想記入  （5分）  〇感想を互いに出し合う  （5分）  〇絵本や読み語りについて聞きたいこと困っていること，または，工夫し  ていることを記入（5分）  〇全体で意見の交流　（15分） | 〇読み合いの感想をしっかりと出し合いお互い  を理解しあう。  ※絵本の読み合いを通して，絵本のことばの力を借り  て，愛情と安心感を伝えあう  〇出た感想を全体で共有。  〇絵本をテーマに，それぞれの違う立場を  理解する。 | ・ワークシートを配布 |
| 14：25  ～  14：40  （15分） | **＜思い出しましょう＞**  〇好きだった本や絵本やおはなしを  思い出してみましょう（5分）  〇「おひざにだっこ」のお話し  〇読書ボランティアの読み語りを聞く（10分） | 〇静かに目を閉じて  自分の幼少期を思い出し振り返る。    〇絵本をとおして，おひざにだっこの温もりを参加者が感じられるように・・・  ●全体での読み語り体験により,絵本により  親しむ。  ※絵本はコミュニケーションツールの一つ |  |
| 14：40  ～  14：45 | **＜学習を振り返りましょう＞**  〇今日の学習を通して気づきを  アンケートに記入（5分） | ※正解はないが，自分の方向性のヒントに。 |  |
| 14：45  ～  14：55  （10分） | 〇図書館からのお話し（10分）  ○終了 | ○図書館等，絵本と出会える場所を紹介する。  ※貸出し用絵本は，〇〇冊準備 | ・現状復帰 |
| 〈メモ〉 | | | |